



東北地方太平洋沖地震の被災者への支援 －専修学校各種学校の今後の取り組み－

平成23年 3月31日
全国専修学校各種学校総連合会
会 長 中 込 三 郎

このたびの東北地方太平洋沖地震及び福島第一原子力発電所事故において、被災された方々に対して、心からお見舞いを申し上げます。

全国専修学校各種学校総連合会（全専各連）の会員校は、一刻も早い被災者の生活再建、被災地域の復興を、心より願っております。今後、多様な職業分野にわたる教育、地域に根ざした職業教育等の成果を活かして、被災者の支援や被災地域の復興に微力ながらに貢献していきます。

その第一歩として、全専各連では、団体のホームページに「東北関東大震災への復興支援」のページを開設しました。被災した専修学校各種学校が教育活動を早急に再開し、学生生徒が地域人材として復興を推進していくことを支援することはもとより、全国の会員校、その教職員や学生生徒等が被災者に対して、支援活動を円滑に行うことを目指したものです。

今後、全専各連としては、専門性を活かしたボランティア活動を行う会員校の情報、被災された高校生や大学生等に対する会員校の修学・就業支援の情報、被災地をはじめ各避難所の情報等を収集し、発信していきます。

1. 学生生徒の修学支援

- 被災された入学予定者や学生生徒への支援として、手続期間の延長、入学金・学生生徒納付金の徴収猶予・減免等のほか、教育的な配慮に基づく卒業・進級等の弾力的な取扱いを全国の会員校に呼びかけ、取り組んでいきます。
- 被災した専修学校各種学校の入学予定者や学生生徒への支援として、他の地域の会員校への入学・転入学の弾力的な取扱い、入学金・学生生徒納付金の徴収免除・減免等を全国の会員校に呼びかけ、取り組んでいきます。

2. 内定取消しを受けた卒業者の受入れ

- 被災や震災による業績悪化等の理由により、企業等から内定を取消された卒業者への支援として、入学・編入学の弾力的な取扱い、入学金・学生生徒納付金の徴収免除・減免等を全国の会員校に呼びかけ、取り組んでいきます。
- 同時に、内定を取消された卒業者を専修学校各種学校の職員として積極的に採用するよう、全国の会員校に呼びかけ、取り組んでいきます。

3. 被災された方々の一時（次）避難所の提供

- 現在、被災された方々の一時（次）避難所の設置を計画し、受入れ先を募集している都道府県において、学生生徒や教職員向けの寄宿舍（寮）を保有する会員校に、受入れ先の提供を都道府縣市町村の窓口への申し出するよう呼びかけ、取り組んでいきます。

4. 教職員や学生生徒によるボランティア活動の促進

- 被災された方々に対して、全国の会員校に地元の行政機関や施設、N G O と連携しながら、積極的なボランティア活動を行うことを呼びかけ、取り組んでいきます。
- 特に、多様な職業分野にわたる教育を行う専修学校各種学校の特徴を踏まえ、会員校は、被災者のニーズや生活環境等に応じた実際的なボランティア活動の企画・実施に取り組んでいきます。
なお、会員校の具体的なボランティア活動の状況についても、適宜、本ホームページにて報告していきます。

<本件問合せ先>

全国専修学校各種学校総連合会 事務局

菊田（キクタ）、菅野（スガノ）

TEL : 03(3230)4814 FAX : 03(3230)2688

【URL】

<http://www.zensenkaku.gr.jp/shinsai/index.html>